

中国におけるクラウドファンディング

洲澤 輝

<中国ビジネスの新しい集資方法>

中国に限らず、新しいビジネスを立ち上げようとする、本格的な生産や展開の前に、市場調査や開発費、金型や生産体制の整備など初期費用が発生します。特に、新しい製品を開発し、製造、販売する場合には、新たな挑戦として多額の資金調達を進めなければなりません。

<中国におけるクラウドファンディングプラットフォームの現状>

最近の中国では、資金調達の方法の1つとして、クラウドファンディング（以下、「CF」といいます。）の活用が多くなっています。CFとは、インターネットを通じ、不特定多数の人から資金や協力の提供を集める仕組みですが、資金や協力を提供した投資者の報酬形式によって、以下の通り、いくつかの種類に大別されます。2016 年末時点、中国の CF プラットフォームは 600 以上に上ります。このうち、資金調達額がもっとも多かったのは、インターネット通販大手「京東」集団傘下の購入型の「京東 CF」(※1)でした。京東 CF サイトで展開している製品としては、健康器具や腕時計、調理器具やオーディオ機器など幅広く、CF 前に設定する目標額も 50,000 元、100,000 元、500,000 元と様々です。

この京東 CF に「日本」をキーワードとして検索をしてみると、無添加洗剤や知育教材、日本体験旅行などの製品やプロジェクトがヒットしました。これらはすでに募集が終了しており、いずれも目標額に到達していました。

<CF のメリットと問題点>

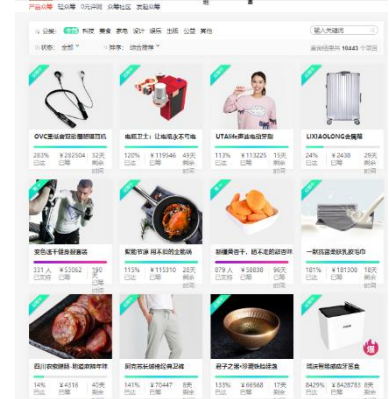
紹介した CF プラットフォーム利用のメリットとしては、資金調達だけではなく、需要の有無を判断する基準となりうる市場調査としての一面を持つということです。CF プラットフォームを通じ資金調達をできたということは、その製品やプロジェクトに対し、「需要がある」と判断することも可能になります。また、投資者は SNS で使われる「いいね！」にタッチする身近な感覚で資金や協力を提供するの

で、人々の関心度が率直に分かります。

一方、問題点としては、自社で開発したアイデアや製品、サービスがインターネット上で公開されることから、模倣されてしまったり、盗まれてしまう恐れがあることです。このため、CF プラットフォームで公開する前に、商標や特許などを事前に取得しておくことなどが必要です。

分類	報酬の形式
寄付型	寄付として資金を提供するのみ
購入型	報酬として、投資先の企業から金融以外の商品やサービスなど受ける。
株式型 (エクイティ)	投資先の企業から、株式を受ける。

外国企業の製品やサービスについても、CF プラットフォームで資金調達を行うことは可能です。その場合、中国に現地法人や取引を行う代理店のいることが前提条件となっています。また CF 参加の申請には、プラットフォームサイトから手続きを行うことになります。CF の申請方法や運用、注意点など気になることがございましたら、ひろしま産振構国際ビジネス支援センターや広島上海事務所までご連絡ください。



(京東 CF プラットフォームより)

(※1) 華中新金融研究院の「2016 中国インターネット CF 年度報告」による。京東の資金調達額は、21 億 7,649 万元に上る